

## 移住定住の促進について

地域振興部長 毎年80名程度の移住者がある。



酒井 光 則 議員

## 加津佐地区の医療体制について

議員 加津佐町の医療機関が2月末に閉院し無医地区となったが、市としてどのような対応を考えているのか。

市長 私にも地域の皆様から心配の声が寄せられている。医療機関の開設などの許可や医師の確保などの取組は県において進められているが、市としても現在、地元医師会や県の担当課に相談をしている。

## 農業振興について

議員 基盤整備事業の新規地区の推進に向けての取組は。

市長 現在協議中も含めて7地区の候補地を想定しており、今後、県や地元関係者と十分協議・検討を重ね、理解を得ながら事業採択に向けた推進を図りたいと考える。

議員 市単独事業の農業農村整備事業の実施実績はどれくらいか。

農林水産部長 地元が事業主体となつて実施する小規模基盤整備事業の実績は、合併後の平成18年度から現在まで8件の基盤整備に補助をしており、面積にして約2haである。

議員 地域計画（人・農地プラン）の策定に向けたスケジュールは。

農林水産部長 これまでの人・農地プランが令和5年4月法定化により、地域の話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画と位置付けるとしている。地域計画策定については、地域内外からの農

## 自転車歩行者専用道路について

議員 令和6年度完成後の自転車歩行者専用道路の活用計画は。

建設部長 市民が日常生活において通学や買い物等での利用や、健康増進、交流機会づくり、来訪者による市内散策等の利用も期待できることから、市民生活を支え地域の魅力を発信できると思う。開通後のイベントとしては、サイクリング関係の有名人と一緒に走るイベント開催に向けた協議を行っている状況である。



空池原基盤整備事業



質問の様子を動画で見よう

## 農地基盤整備事業の受益者負担は

市長 ほぼ全額補助である。



松 永 忠 次 議員

## 農業振興について

議員 農地基盤整備事業における受益者負担割合の軽減措置の考えはないか。

市長 現在、実施中の地区については、事業費の5%から5・5%が受益者負担金として設定されており、一定の要件を満たした場合、受益者負担のほぼ全額を補助。

## 県道整備事業について

議員 県道雲仙有家線（尾上地区く下新切地区）の改修の進捗状況は。

建設部長 尾上地区から

下新切地区における幅員狭小とS字カーブの解消を目的として、延長約1.4km、幅員5・5m（全幅員7m）という計画で測量設計を実施。令和2年度は、事業を一旦休止している。今後も継続して地権者の同意聴取に取り組み事業の再開を行っていく。

## 観光振興について

議員 自然環境の保全及び景観の維持・再生に関する事業という項目で、ふるさと納税の充当はできるのか。

地域振興部長 ふるさと応援寄附金基金の充当は問題ないと思う。

議員 有家の鮎帰りの滝のトイレ整備をお願いしていたが。

地域振興部長 環境整備をしたい。

## 商工振興について

議員 西有家町のレンガ通りという、上新町、中新町、本新町は一方通行になっているが、時間帯の緩和はできないのか。

総務部長 小・中学校の通学路として利用され、道路の両側ぎりぎりまで家が建ち並んでいる状況では困難である。

議員 それを7時から8時30分の時間制限で、通学路の利用を。住みやすいまちとうたっているなら、市民のため、住民のために許可申請を。

市長、市長は、本市の市民が安心して暮らせるまちと、うたっているが本市の場合は国策の人口減少、少子化対策、コロナ対策など難問が山積みしている。今の南島原市は大型事業に大金を打ち込み、市民の安心安全な生活どころか、未来の子供たち、10年、20年先が思いやられる。いまだ、市長、大型事業を立ち止まる政策も一つであると思う。まず「土地を耕す、人を耕す」南島原市になってほしい。



質問の様子を動画で見よう